

## 姫島で野村望東尼慰霊祭

勤皇の志士を支えた偉人を偲ぶ

姫島で5月8日、野村望東尼慰霊祭が行われ、およそ60人が参加。式典では、小・中学生による野村望東尼頌徳の歌も披露されました。  
野村望東尼は、幕末の動乱期に、勤皇・倒幕に身を投じ「乙丑の獄」により捕らえられ、姫島に流罪となりました。その後、高杉晋作の命により救出。その間、島の人たちは60歳を迎えた望東尼に、優しく接していたといわれています。  
望東尼の獄舎跡からは海が見え、新緑まぶしい中で尼公を偲びました。



毎年、地元で開催している慰霊祭で、小・中学生が歌を披露

## 新緑の糸島路を満喫

志摩サンセットロードマラニック

5月9日、サンセットロードを走りながら楽しむ、志摩サンセットロードマラニックが開催され、およそ100人の健脚が、最高6時間の限度時間で約44kmのコースに挑戦しました。  
今年で3回目となるこの催しは、競技ではなく、楽しみながら走ることが目的で、ロコミで参加者が増え、今年の参加者の最高齢は78歳でした。  
秋には糸島市誕生を記念したイベントが企画されており、関係者は、地域の人にたくさん参加してもらえるものにと語っていました。



午前8時、44kmの糸島路を楽しむため、スタートが切られました

## 福井神楽、白山神社で奉納

夜神楽とは違う迫力でにぎわう

二丈福井の白山神社で5月9日、福井神楽が奉納されました。元日にも夜神楽がありますが、全演目を舞うのは5月だけです。  
舞は昼から夕方にかけて長時間演じられ、赤い面を着けたミサキ神が激しく舞う先駈神主や両手に米を盛った盆を持ち、こぼさないように舞う折敷など切れのある舞が奉納されました。  
会場には、迫力ある舞を見ようと多くの人が訪れ、にぎわっていました。



迫力ある先駈神主(ミサキカンヌシ)の舞が会場を沸かせる

## 梅雨の水害から地域を守る

糸島市消防団水防訓練

梅雨時期の大雨に備え、長野川と泉川が合流する荻浦の川土手で5月9日、水防訓練を開催。班長以上の消防団員約300人が参加しました。  
晴天の穏やかな日でしたが、目の前の川が濁流になっていくことを想定し、消防署職員の指導を受けながら、土のうを積んだりシートを広げたり、本番さながらの訓練が行われました。  
消防団員たちは、土のうの積み方や土のうを木などにくりつける結束方法など、汗だくになりながら、真剣に取り組んでいました。



土のうの固い結束方法などを真剣に聞き入る消防団員

## 糸島一をめざして熱戦

第1回糸島市市長旗野球大会

第1回糸島市市長旗野球大会が、5月9日から、曲り田グラウンドを中心に市内4か所の野球場で開催され、熱戦が繰り広げられました。  
この大会は、昨年まで糸島市町長旗野球大会として開催されていましたが、糸島市誕生を記念し、市長旗野球大会としてスタートしました。  
大会には市内の14の野球チームが参加。市内で一番強い野球チームをめざそうと真剣勝負です。試合結果は、山尾モーターズ加布里クラブチームが、第1回目の優勝を果たしました。



市内で最強のチームをめざして、真剣勝負

## 優勝大刀洗、準優勝志摩

志摩少年柔道大会開催

5月4日、可也公民館体育館で、第19回志摩少年柔道大会が開催され、男子団体戦に34チーム、女子個人戦に94人が出場しました。  
試合前にはソウルオリンピック銅メダリストの北田典子さんが一本をとる柔道の本流や両親に対する感謝の気持ちのたいせつさなどを話し、実技指導を行いました。  
大会は、志摩中が健闘。トーナメントを勝ち抜き、決勝戦では体格に勝る大刀洗に果敢に挑みましたが、惜しくも準優勝となりました。



県内外からたくさん選手がエントリー